

【緑地の樹】

マユミ(檀)

さくら広場のフェンス際に、道路側に張り出すように突き出している木があります。赤い実をいっぱいつける元気なクロガネモチに押されてちょっと目立たないけれど・・・それが、マユミ。

花の時期はほとんど気づかれないが、実がいっぱいつくと目につく木です。その実の四角い形や、割れて出てくる赤い種から、サルノジュウバコ（猿の重箱）、タマテバコ（玉手箱）、ミコノズ（巫女の鈴）、イチゴマス（苺枮）など、地方によっていろいろな呼び方で親しまれています。

マユミという名前は、良くしなるこの木で弓を作ったから。

(小川)

プロフィール：ニシキギ科ニシキギ属の木本

